

リモートワークでも大活躍 使いやすさとセキュリティを両立させるAI翻訳が 急速なビジネス環境変化に適応する 「働き方変革」の即戦力に

■導入製品

精度95%のAI翻訳による 言語インフラソリューション Premium T-400

Premium Translation for Onsha Only

- 機密文書での利用を想定した、
充実のセキュリティオプション
- 認証/ID連携によって
管理負荷の低いインフラAI翻訳サービスを実現

株式会社リコー デジタル推進本部

リコーの情報システム部門であるデジタル推進本部はリコーグループ全体の“現場の変革、社内オペレーションの変革、経営の変革を最新の技術とITの力で成し遂げる”活動を推進しております



リコーの働き方変革を支える 全社ITインフラとして 4万人強の従業員にAI翻訳を提供

リコーグループは、「時間と場所を自ら選択するより効率的な働き方」を目指し、いち早く、2016年に在宅勤務制度を導入、それを支えるOffice365を始めとしたクラウドコラボレーションツールなどの全社ITインフラ基盤を刷新。2018年には社内外にサテライトオフィスを整備するなど「それぞれのワークとライフにあった働き方」を実現するリモートワーク制度を拡大させるとともに、社員が働きやすい環境を強化するなど積極的、かつ戦略的に働き方改革を推進してきた。

リコーグループではこうした社内実践活動で培ったノウハウをもとに顧客への提案活動に取り組んでいる。一方で近年のビジネスのさらなるグローバル化と、ハイスピード化に伴い、外国語の翻訳業務においても効率化は重要な課題であった。

こうした状況を受け、2019年10月にデジタル推進本部ITインフラ統括部・部長 小林氏とグループリーダー・新妻氏を中心とした、全社AI翻訳ツール導入プロジェクトが立ち上がった。

プロジェクトは翻訳業務を多く抱える研究開発、企画マーケティング、コーポレートスタッフの各部門と連携、業務分析を行うところから始まった。一般的に翻訳業務は外部の翻訳会社へ発注するか、従来型の翻訳ソフト、インターネット無料翻訳サービスなどを活用する場合が多い。しかし、翻訳会社への依頼は高コストな上に時間がかかるうえ、納品後も翻訳文書の確認や手直し作業も発生するため、スピード・コスト両面で課題がある。

また、インターネット無料翻訳サービスは、機密にあたる情報が外部に流出する重大なセキュリティ面での問題も抱えていた。小林氏は「以前から契約書、特許文書、就業規則など専門用語に対応した高精度、高機能な翻訳が必要である一部の部門でロゼッタ社の『T-400』を導入しており、高評価を得ていた」と語る。『T-400』の特長は、①2,000分野に細分化された専門分野言語データベースを搭載、②さらにユーザーや

部門ごとの専用データベースによる学習機能を持ち、③最新のAIエンジンがそれらを反映してプロ翻訳者レベルの正確な翻訳を出力する。

また、テキスト翻訳のみならず④Word、Excel、PowerPoint、PDFやXMLといった形式のファイルを一括で翻訳し、原文のレイアウトのまま訳文ファイルとして取り出すことが可能と、非常に利便性の高いツールとなっているという。しかも、コストも一般的な翻訳外注費に比べて1/20以下まで大幅に削減可能であり、翻訳業務の多い部門にとっては“使い勝手”に優れたツールであった。

「しかし、他の多くの部門では『T-400』の専門的かつ高度な翻訳機能よりも、もっと気軽に外国語での情報収集や事業の6割以上を占める海外拠点とのよりスムーズなコミュニケーションで仕事のスピードを上げたいというニーズがあった。このように程度の差はあるものの、翻訳ニーズは全社的に高く、翻訳業務の効率化はグローバル化と、ビジネスのスピード化に欠かせないものと分かった。

AI翻訳ツールの利用を全社員へと拡大するには、

RICOH
imagine. change.

■導入企業Data

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています（2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円）。創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

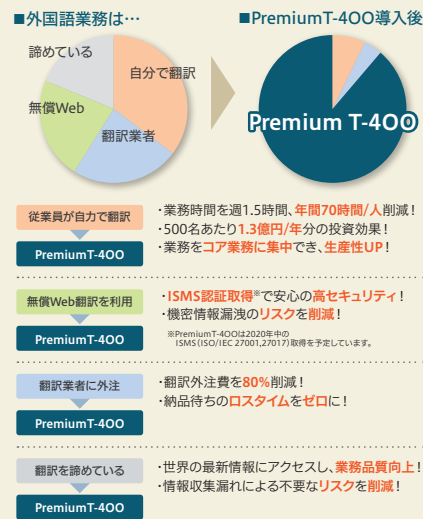
EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES

- 人々の“はたらく”をよりスマートに。

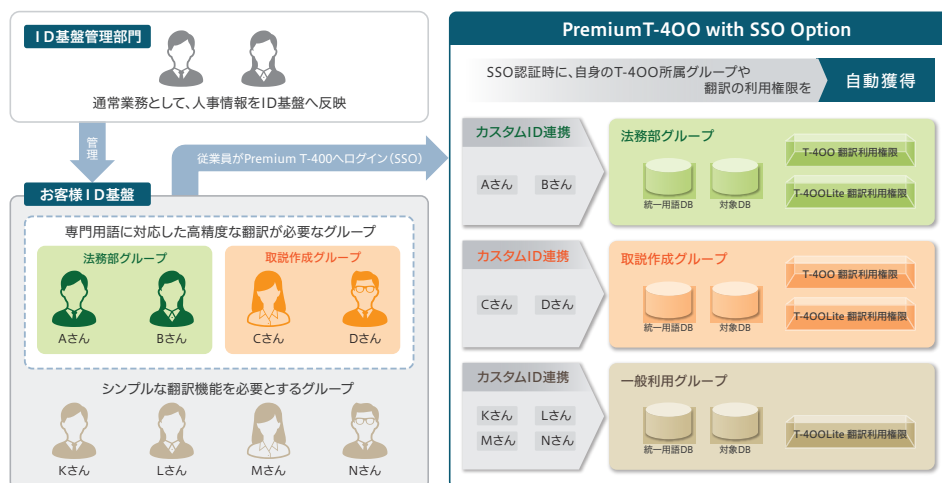
リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

翻訳業務の効率化・コストダウン事例

AI翻訳の導入による外国語業務効率化(例)



PremiumT-400 SSO Option カスタムID連携



これまでマニュアルで行なっていたT-400のユーザーID作成や権限設定などのクラウドサービスの利用者管理においても自動化は必須だった」と新妻氏は語る。

国内グループ全従業員4万人へのAI翻訳の提供、ID管理・運用負荷軽減、セキュリティリスクの削減、リコグループが抱えるこれらの課題を解決するソリューションとして、2019年12月にロゼッタ社『Premium T-400』の導入が決定された。

セキュリティリスク、運用負荷を減らし、利便性と生産性の向上へ。 安心安全で快適な外国語業務環境の整備が狙い

『T-400』をリコ専用カスタマイズした『Premium T-400』の導入の決め手は大きく2つ、「クラウドながら独自の専用環境が提供されるため情報漏洩のリスクが基本的でないこと。そしてもう1つは、ID管理を自動化でき、運用コストの削減にも効果を発揮できることです」と小林氏は語る。

4,500社を超える導入実績を持つ『T-400』は、導入企業からもID管理を自動化したい、自社の認証環境と連携したいといった要望があった。これらの要望に対しロゼッタ社は『T-400』を個社ごとにカスタマイズし提供する『PremiumT-400』のサービスを開始しており、本プロジェクトではリコグループの認証環境でのシングルサインオンに加え、国内従業員4万人のアクティブディレクトリとのID連携を実現した。

これにより、全従業員が高精度なAI翻訳を使えるだけでなく、入退社、組織変更のたびにT-400側のユーザー情報も自動更新され、適切な権限が付与されることで、自部門のこれまでの翻訳ナレッジをすぐに利用できる。外国語業務の効率化、セキュリティリスク削減だけでなく運用負荷をも減らし、生産性や

利便性の向上を図ることができたことは大きな成果といえる。

「ライセンスコストの兼ね合いや部門ごとに異なる翻訳ニーズに対応するため、研究開発、法務、広報、知的財産、グローバルマーケティング、グローバル人事、グローバル生産管理などは高精度、高機能翻訳の『T-400』、その他の部門では定額で無制限利用ができる『T-400Lite』の2つの機能を使い分けて利用しています」と新妻氏。

『Premium T-400』はこうした個々のニーズに応じて、柔軟にカスタマイズできることも魅力といえるだろう。

プロ仕様の本格翻訳も、シンプル仕様のお手軽翻訳も、ファイルまるごとAIにお任せできる強力ツール

「働き方改革の視点から見た場合でも、『T-400』機能と『T-400Lite』機能を併用すれば、全社的な生産性向上や時間創出にも効果的です」と新妻氏は語る。

実際、従来だと1週間かけていた資料の英訳業務が30分で完了し、外国語の翻訳業務にかけていた業務時間を9割削減できたなどの業務効率化を実現。会社全体、部門ごとの翻訳ナレッジが個別に蓄積され、新入社員や人事異動してきたユーザーもその日から活用できるなど、『Premium T-400』導入で得られる効果は多々ある。

「すべての外国語が絡む業務を従業員個々の努力でカバーするというのは無理がある。かといって外注は時間もコストもかかる…、だったら翻訳はすべてAIに任せることでコア業務に集中でき、さらに創出された時間を本来の価値創造にシフトする。その結果、翻訳業務の負荷やコストが劇的に軽減されるだけでなく、会社全体の業務生産性とスピードも上がる」と小林氏。

Interviewee



デジタル推進本部
ITインフラ統括部
部長
小林 寛樹 様

デジタル推進本部
ITインフラ統括部
Well-Being グループ
グループリーダー

新妻 拓 様



導入前にいくつかの部門で『T-400』と『T-400Lite』のトライアル利用をしたところ、「手直し不要で楽!PDFがそのまま読めるのも便利!」「微妙なニュアンスの翻訳もできるのがいい」

「分野ごとの単語の使い方が完璧で、専門家の翻訳のようだ」「翻訳業者からの納品待ちの時間から解放され、次の工程に進める」「他の業務に時間が使えるのが嬉しい」など、評判は上々。

2020年5月から本格稼働中だが、「多くの従業員が在宅勤務ベースとなっている中でリモートワークでの強力なツールとしても手応えを感じています」と新妻氏は自信を渗ませる。

コロナ禍でも、リモートワークに有効活用 新たな働き方に必須のソリューションに期待大

「導入前の翻訳業務のプロセスは、自力で翻訳して上司や同僚にチェックしてもらうか、外注業者と事前打ち合わせ納品後には確認や修正など、対面やメールで何度もやり取りが必要でした。それが、クラウドベースの『Premium T-400』ならば、全部オンラインで安心・安全に高精度な翻訳が簡単に手に入る。人と人との接触が難しい状況下においても業務プロセスが変わらないということは会社にとって強みです。クラウド型AI翻訳ソリューションというツールは、これからの新たな働き方に向けて必須だと強く感じます」と新妻氏、そして小林氏は「リモートワーク環境にあっても、クラウド上で情報共有しながら『Premium T-400』で翻訳し、そのまますぐにMicrosoft Teamsなどで共有することで、結果的にパートナー企業様、海外の関連会社や部門にも効果が波及しています」と語る。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、リモートワークでもオフィスと同様の働き方ができる環境を提供するインフラとしてAI翻訳『PremiumT-400』への期待は大きい。

お問い合わせ・ご用命は…



株式会社ロゼッタ

〒163-6023
東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
オークタワー23F